

日ラグ協発第 16-703 号

平成 29 年 2 月 1 日

関東ラグビーフットボール協会

会長 水谷 眞 様

関西ラグビーフットボール協会

会長 坂田 好弘 様

九州ラグビーフットボール協会

会長 森 重隆 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会

専務理事 坂本 典幸



### 競技規則適用のガイドライン - 頭部へのコンタクト<通達>

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則につきまして、ワールドラグビーよりこのほど、下記の通りガイドラインの通達が出されました。

日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。

貴協会におかれましても加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

ワールドラグビーの執行理事会は、定款第 12 条に則り、頭部へのコンタクトに関する競技規則適用のガイドラインを作成し、2017 年 1 月 3 日より施行する。各メンバー協会によるガイドラインの適用にあたり、以下のリンクにある事例映像も参照していただきたい:

<http://laws.worldrugby.org/guidelines>

また、さらに詳しい学習用映像も作成し、下記のリンクからご参照いただける:

<https://mab.to/rYURQilAe>

記

ワールドラグビー競技規則の適用に関するガイドライン

「無謀な、および、意図的ではないタックル」 (日本語版)

<http://laws.worldrugby.org/?domain=9>

以上

# 無謀な、および、意図的ではないタックル

2016年11月

## 無謀なタックル

タックルをしているとき、または、タックルをしようとしているとき、あるいは、その他のフェーズのときに、接触をするときに相手の頭部に接触する危険があることをわかっていた、または、わかっているべきであったのに、いずれにせよそうした場合、そのプレーヤーは無謀な接触を行ったとみなされる。この時の罰は、肩の線より下から入ったタックルにも適用される。このような接触は、たとえ肩の線より下からの接触だとしても、頭部/頸部の周辺をつかんだり、回したり、巻きついたりする行為もあてはまる。

最も軽い罰: イエローカード

最も重い罰: レッドカード

## 意図的ではないタックル

タックルをしているとき、または、タックルをしようとしているとき、あるいは、その他のフェーズのときに他のプレーヤーに接触する際に相手の頭部に意図的ではない接触をした場合、それが直接であっても、肩の線より下から入ったタックルであっても、そのプレーヤーは罰せられる場合がある。ボールキャリアーがタックルが起きるときに身を低くするような状況も含む。

最も軽い罰: ペナルティ

例: ペナルティのみ